

# 「自らの学生生活プラン、人生プランを立てて進もう」

広島国際大学 学長 森永 規彦



ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、本学は、今や5,000人に近い学生を抱える広島県下では有数の大きな大学となっています。本学は1998年の創立以来、今年で13年目を迎えるわけですが、このような短期間で急成長できたのは、新入生の皆さんにとっては先輩となる卒業生、在学生の学生諸君もよく頑張ったし、教職員も大変な努力をしてくださったし、その上、常翔学園グループ大学の一員であることによって地元で大きな信用を得たことや、時代の流れを先取りして、健康・医療・福祉の分野を主力とし、それ以外に社会科学の心理学や技術の工学などの分野も兼ね備えた、他大学にはない総合大学的な独特の雰囲気などが、社会に受け入れられた結果だと考えています。

新入生の皆さんも、まずはこのような本学の生い立ちをよく理解していただきたいと思います。

そして大学は、皆さんの教育・研究指導に全力を挙げて臨みますので、大学を信じてついてきてください。

世の中はいま、経済不況の真ただ中にあります。こういう時こそ、皆さんは、一旦、過去は捨て、白紙の状態とし、自らの人生これからだという気持ちで、学生生活プラン、人生プランをしっかり立て、自らに磨きをかけることに注力してください。

このような取り組みがあつてこそ、自信を持って社会に打って出ることができるようになるわけです。大いに期待しています。

## 学部長メッセージ



保健医療学部長  
南山 求

保健医療学部にご入学おめでとうございます。授業が始まると、専門的な耳慣れない言葉や内容に戸惑うこともあるでしょうが、教員一同は皆さんの理解を助けるために必要な努力・工夫を惜しみません。楽しい学生生活を過ごすために、孤独はありえても、孤立はい

けません。家族、友達そして教職員が皆さんを見守り、相談されたがっていることを忘れてないでください。チーム医療の一員であるためには、人とのコミュニケーションが非常に大切です。道のりは険しいかもしれませんが、国家試験に合格し、希望に添った就職がかなえられるよう、ともに頑張りましょう。



医療福祉学部長  
岡崎 仁史

みなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは人生に対する夢と希望をもって医療福祉・医療経営の領域を選ばれたことを、先に歩んでいる者として歓迎します。人々や地域社会は、社会・経済・家族・地域の変動あるいは病気や老

いなどに遭遇し、自分の希望することは違う事態になって生活形成に苦労される方が増えてきています。みなさんは、人々や社会に対して尊敬を持って、支援し運営する専門職になることを期待しています。



薬学部長  
中牟田 弘道

薬学部新入生のみなさんご入学おめでとうございます。薬学部の教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。今日から皆さんは薬の専門薬剤師を目指すこととなりますが、大学では単に薬に関する専門知識の修得にとどまらず、幅広い

教養の獲得と豊かな人間性の形成を目指し、講義、実習や演習だけではなくサークル活動などにも積極的に参画することを通して、社会から求められるヒトになるように努力されることを期待します。



心理科学部長  
森本 修充

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ご家族の方々の喜びもひとしおだと思えます。新入生の皆さんは、新しい出発が始まります。広島国際大学で、新しい空気を思い切り吸ってください。新しい空気とともに、あなたの中に変化を起

こしてください。

教員も職員もみなあなた方といっしょに新しい空気を吸ってほしいと思います。勉学に励んでください。そしてサークル活動、ボランティア、アルバイト、すべてが成長につながります。悩むことも成長への足がかりです。でも、あまり力まなくてもいいですよ。自分のペースで一歩一歩、時には立ち止まりながら歩いてください。



工学部長  
小谷 教彦

工学部へのご入学、おめでとうございます。

工学部の教職員は、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

大学では、高校とは一味違った授業が始まります。大学では、君たちの意志を尊重します。自分に

責任を持って、しっかりした計画を立ててください。分からないことや困ったことがあれば、先生に聞いてください。

友達を作りましょう。友達との情報交換は、学生生活を楽しく有意義なものにします。これから4年間、大学院へ進学する人は6年間、一緒に歩んでゆきましょう。



看護学部長  
小笠原 知枝

新入生のみなさん、看護学部へご入学おめでとうございます。

看護師、保健師へのスタートをきった気持ちはいかがですか。

看護師、保健師はいま社会が一番注目しているスペシャリストです。人に向うこのスペシャリストなる道のりは、決して平坦ではありません。

身体や心を病める人々、健康に自信のない人々へのケア、指導、教育ができるためには、看護学に

関する知識、技術を勉強することは、はじめの第一歩です。しかし、これだけでは冷たい人間になってしまいます。人には温かく、やさしくいたわることのできる備えや態度を身につけなければなりません。

まずは、大学の身近な友だち同士が支え合いながら、学内での講義や演習、そして学外の実習を乗り越えて、国家試験合格を目標に気合いを入れて、一歩一歩確実に学んでいきましょう。

看護学部の先生方は、若くてエネルギーあふれるみなさんの健闘を期待しています。初心を忘れずに頑張ってください。